

AIと人間の役割分担

チャネリングマラソン第5回まとめ

「人間は人間らしく、ワクワク夢中の1択」

田中啓之（ひろくん）

AI氣道 主宰

今日のお品書き

1. AIが変えた「仕事の風景」
 2. チャネリングで見えた答え
 3. 「委ねるOS」とは何か
 4. 人間が集中すべき「1択」
 5. チームに「丁寧に伝える」技術
 6. 分身AI開発の実践
 7. 明日からできる3つのこと
-

AIが変えた「仕事の風景」

- ChatGPT登場から2年で **業務の40%** がAI支援可能に
- 「AIに仕事を奪われる」 → 「AIと共に働く」へシフト
- でも… **何を任せて、何を自分でやる？**

料理で言うと、フードプロセッサーが来たけど
「全部ミキサーにかけたら美味しくない」のと同じ

チャネリングで見えた答え

すがじんさんの100人チャネリングマラソン第5回で
「AIと人間の役割」を生相談

チャネリングの結論：

「人間は人間らしく、ワクワク夢中の1択に集中せよ」

- AIは効率化の道具ではなく創造の増幅器
- 人間にしかできないこと = 魂を込めること

「委ねるOS」とは

自分の中の Operating System を書き換える考え方

旧OS (抱え込む)	新OS (委ねる)
全部自分でやる	得意に集中
完璧を目指す	70%で出す
管理・監視する	信頼して任せる
情報を抱える	透明にシェア

料理で言うと「一人で全品手作り」から
「おかずごとに担当を分けて、盛り付けだけ自分で」

人間が集中すべき「ワクワク夢中の1択」

人間の不可替領域：

- ビジョンを描く — 未来の絵を語れるのは人間だけ
- 関係性を築く — 信頼は対面の温度で生まれる
- 意味を付与する — 数字の裏にある「なぜ」を語る

- 直感で判断する — データにない「匂い」を嗅ぎ取る

AIに委ねる領域：

- 情報収集・整理 / 文書ドラフト / スケジュール管理 / データ分析

チームに「丁寧に伝える」技術

AIだけじゃない。人間のチームメンバーにも委ねる

3つの伝え方の原則：

- 感謝から始める
「ありがとう、あなたがいるから助かってる」
- Why を共有する
「なぜこれをやるのか」を先に伝える
- 任せたら口出ししない
途中経過を信頼して待つ

料理で言うと、レシピだけ渡して味見は最後だけ

分身AI開発の実践

ひろくんの社長無人化計画が進行中

分身AI「ひろくん」の役割：

- ブランドの価値観チェック
- トーン・声の監修
- 意思決定の壁打ち相手

実績：

- コンテンツ作成時間 **70%削減**
- ブランド一貫性スコア **95%維持**
- 月間コンテンツ本数 **3倍**

分身AIを育てる = 自分が育つ

明日からできる3つのこと

テイクアウェイ

1. 自分の「ワクワク1択」を書き出す
→ 今日中に紙1枚に書く
2. 1つの業務をAIに委ねてみる
→ 完璧じゃなくてOK。まず任せる
3. チームメンバーに「ありがとう」を伝える
→ 「あなたがいるから助かってる」の一言

料理で言うと、まず日替わり弁当1品から始めよう

AI時代の人間の役割

ワクワク夢中の1択に集中し、
残りは丁寧に委ねる。

チャネリングマラソン第5回の全編はこちら：

[AI氣道ブログで詳しく読む](#)

このスライドは AI氣道のコンテンツエンジンが生成し、ひろくんが最終チェックしています